

# 2018-19年度ライオン誌日本語版委員会 第5回会議 報告書

日 時：2018年11月5日(月)13:30～16:00

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事 安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズクラブ)  
委員長 矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)  
編集長 稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)  
委員 渡辺 和廣 (330複合地区／山梨県・甲府シティライオンズクラブ)  
委員 渡辺 修 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)  
委員 渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)  
委員 西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)  
委員 神崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)  
委員 椿 幸雄 (337複合地区／熊本火の国ライオンズクラブ)  
一般社団法人専務理事 高橋 克文 (千葉県・船橋翼ライオンズクラブ)  
ITアドバイザー 小柴 登司 (337複合地区／沖縄県・浦添ウエストライオンズクラブ) ※オンライン  
欠席者：国際理事 佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)  
ITアドバイザー 莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)  
ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ)



矢野委員長の開会あいさつに続いて、安澤国際理事からあいさつと国際関係報告があり、その後、矢野委員長、稲岡編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

2018年9月度の収支計算書説明の前に、会計担当者から国際協会補助金を前年度までと同じ2分の1ドルで計上していたが、今年度から正しくは3分の1ドルを計上すべきであったとして、会計顧問と相談の結果、10月度収支計算書で調整することが報告された。その上で、9月は本誌の発行がなく、紙媒体発行に関わる印刷費は発生していないこと、また発送関係でもライオン誌送料の収支計上はなく、取材費と掲載誌など月をまたいだ発送事務費等が若干あったことが説明された。その結果、9月度の収支計算書上は約1,160万円の収支差額が出ているが、国際協会補助金の調整後は約600万円の黒字となり、年度末に精算する一部費用の予算額を割り振った参考値では約340万円の収支差額が出ている。

### 2. 本誌関係

#### ●2019年1・2月号 (2018年12月20日発行) 台割案

特集は「レオクラブ」で、全国135のレオクラブの中からレオらしい活動に活発に取り組むクラブや、会員構成や活動内容などに特色のあるレオクラブを取材し紹介する他、全クラブを対象にアンケートを実施し、レオの現状を掲載する。表紙は特集で取材したレオクラブの写真を使い、委員会でデザインを決定した。中国・海南でのOSEALフォーラムは参加に関

する情勢が不安定となり取材を取りやめたことから、参加者からレポートをもらいこの号に掲載する。「国際理事だより：佐藤義雄国際理事」、「編集室：渡辺和廣委員」。10月に愛知県名古屋市で開催された上級ライオンズ・リーダーシップ研究会に関する記事掲載依頼があり、検討の結果、通常の日本レベルや複合地区・地区レベルの話題と同様、本誌ではインフォメーション欄に掲載し、ウェブマガジンに詳しい記事を書き載せることとする。本誌7・8月号「私の考えるライオンズクラブ（仮）」用の意見及び提言募集の告知内容を検討し、本号表2スペースに掲載する。

#### ●今年度特集企画（案）

3・4月号は「小さな町のライオンズ（仮）」（稲岡編集長提案）で、委員からの情報などを基に、当該クラブの活動状況等を調べ、取材先や原稿依頼先を選定した。5・6月号は「アラート・プログラム」（神崎委員提案）、7・8月号「私の考えるライオンズクラブ（仮）」（神崎委員提案）。

### 3. ウェブマガジン関係

#### ●2018年11月号（11月1日更新）出来

11月1日更新のウェブマガジン11月号の出来を確認した。

#### ●2018年12月号以降台割案

ウェブマガジン12月号から2019年2月号の主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。

#### ●情報資料コンテンツの更新

11月1日に国際協会公式サイトがリニューアルし、これまで「情報資料」コンテンツに入っていた本部関係の各種リンクがほとんど消滅してしまった。更に、現在のサイトはそれぞれのリソースを検索する形になっており、ページが存在していないものも多く、これまでと同じリンクページを作成するのは困難な状態になっている。それを踏まえた上で、「情報資料」のうち本部関係のリンクについて、稲岡編集長が本部サイトと突き合わせを行い、次回以降の会議で対応を検討することになった。

### 4. 主要記事予定

#### ●2018-19年度主要記事予定

現在まで決まっている主要記事予定を確認した。

#### ●2018年11～2019年1月取材経費概算

11月から2019年1月にかけての取材経費概算が提出され、検討の上、取材を承認した。これに関連して、現在、本誌及びウェブマガジンそれぞれの月号ごとに取材費・原稿料・編集費が報告されているが、メディアごとの経費に加え、取材ごとの経費も把握したいとの意見があり、次回から取材が終了した時点で経費精算額を一覧にして報告することになった。

### 5. ライオン誌日本語版の方向性

#### ●本年度委員会で議論しているライオン誌の方向性について、「見てもらう」というキーワードに絞って更に検討を重ね、次のような意見が出された。

「現在も写真のクオリティーは高いが、読者の興味をひくためには更にクオリティーを上げ、内容的にも面白みがあるものにしていくことが必要。動画をもっと活用したい。併せて個々の会員までウェブマガジンの更新情報が伝達されるよう徹底する」「話題性のあるコンテンツを設けたり、会員に更新情報が届くようメールマガジンなどのシステムを作る必要がある」「現在は人海戦術でウェブマガジンの啓発活動を行うしかないが、メー

ルを使用している読者会員全員にメールマガジンを送るシステムを構築。内容的には自分たちのクラブに還元出来るものを増やしていく」「災害への支援だけではなく、被災地の復興状況も追跡してほしいとの声を聞く。更新情報に関しては、自分の地区、クラブでは会員まで送信されている」「現在は行く先々でPRに務め、身近な話題については特にアピールしている。きっかけを作ってもらうことが大事。国際協会から補助金が出ている媒体だということも理解してもらおう一方、ライオン誌側も一般の会員が意見を交換したり会員同士がつながっていると実感出来、感動を与えられる内容にしていくことが肝要」「自分の地区で実際に取材に携わってみて、その難しさを実感した。そうして出来ているライオン誌の内容を例会で話し合い、それを報告してもらおうようなシステムが構築出来ないか。また地区からクラブ、会員へと確実に情報が伝わる方法を模索すべき」

- 多くの委員から提案されたメールマガジンに関しては、本年度第1回会議でも提案があり、稲岡編集長からメールマガジン配信サービスの参考事例も紹介された。ただ、会員個人にメールマガジンを送信するためのメールアドレス収集の手立てがなく、本部が推進しているMyLion登録用の会員情報整備への期待などが話し合われた。そこで委員会としてこれを一歩進め、今後、日本ライオンズを通して各クラブに会員のメールアドレス登録を推進してもらうよう働き掛けるなどの方策を検討していくこととする。
- 前回会議で、日本ライオンズの高橋専務理事から、取材経費及びウェブマガジンや本誌の制作費等について、経緯が分かる資料を提供してほしいとの依頼があり、デジタル化推進に関わる検討を行った一昨年度から、ウェブマガジンの構築に取り組んだ昨年度にかけての資料をまとめ提出した。

## 6. その他

- OSEAL調整事務局を通じて依頼のあった、海南OSEALフォーラムで使用する日本ライオンの紹介動画について、菅原事務所長と相談の上、編集部で作成したことが報告された。
- 現在、日本ライオンズ事務所から宅配便を送る際に使用している佐川急便から送料の値上げ要請があり、ゆうパック及びヤマト運輸からも見積を取り、比較検討の上、佐川急便の値上げを了承した。佐川急便と別途契約しているライオン誌クラブ一括発送の送料は変更なし。

閉会あいさつ 矢野敏明委員長

### 【次回以降委員会開催予定】

12月6日(木)	13:30~16:00	第6回会議	日本ライオンズ事務所
1月9日(水)	13:30~16:00	第7回会議	日本ライオンズ事務所